

親子クイズ 492

Q 生徒数が50人の教室があります。英語を話せる人が25人、日本語が話せる人が30人、英語・日本語ともに話せない人が10人います。では、英語・日本語ともに話せる人は何人？

- A. 11人
- B. 13人
- C. 15人
- D. 18人
- E. 20人

【第491回解答】

①風②火③山④石⑤鳥
⑥物⑦光
(風) (林) (火) (山)
高 (山) 植 (物)
電 (光) (石) (火)
二 (石) 二 (鳥)
花 (鳥) (風) 月

【第491回当選者】

大石美佐代 (左右山)
高田 結子 (篠原)
中田 朋子 (浜改田)
浜口 謙一 (浜改田)
鍋島 祐子 (十市)

■応募締切／5月13日(月)必着
■あて先／〒783-8501
南国市大堀甲2301
南国市企画課「親子クイズ」係
*はがきで応募
■賞品／正解者の中から抽選で、5名に
図書カード(1,000円)を贈呈

★応募総数／99通 ★正解率／93%

親子クイズは、広報委員が毎月順番に
考えています。

「フィルタ」

私の周りには、素敵な方がたくさんいます。すれ違うといつも笑顔で声をかけてくれる人。電話で話すと、最初に必ず私を気づかせてくれる人。いつでも相手に心を配れる人。中でも紹介したいのは、相手のことをいつでも自分なりに評価しようと心がけている友人のことです。

数年前、私は、とあるサークルでたくさん仲間と出会い、加わりました。Aさんは元々仲間の間であまり評判が良くなく、私たちは、本人のいない所で色々噂話を聞かれました。私は、単純に「Aさんでそういう子なのか」と思い込んでしまいました。けれども、そんな時、私の友人は決まって「みんなはあんな風に言うけど、私がAさんに何か嫌な思いをさせられた訳じゃないし、私と一緒にいる時は良い子。私はみんなの話に左右されずにAさんと付き合いたい」と言っていました。彼女は、いつでも自分の「フィルター」で相手を見ることを心がけているのです。それは、偏った

見方をするという意味ではなく、既に周りの人たちによって出来上がった「フィルター」に頼らず、その都度自分自身で相手を判断しようとしているということです。周りから聞く人の評価には、思いのほか影響力があり、ともすればまるで自分で評価したことのように勘違いしてしまいがちです。しかし、偏見を持たず、きちんと相手と向き合い、自分が感じたままに評価することで、時には新たな人間関係につながることもあるのではないのでしょうか。

周りの評価を無視することはできませんが、安易に同調するのではなく、自分の「フィルター」をぜひ大切にしたいものです。そして、周りの人がそれぞれの「フィルター」でちゃんと評価できるように、自分が出した評価を不用意に発信しないよう配慮できる人でありたいものです。

*このシリーズはあなたとあなたの周りにいる人の間に温かなつながりが生まれることを願い、人権について考えるきっかけになることを目的としています。

※お問い合わせは
人権啓発広報委員会
(880・6569) まで

人生コツコツ



たけむら のりひろ
竹村 経敬さん (久礼田)

笑顔に感謝



かわしま あきこ
川島 明子さん (前浜)

なんこくライフ 154



なんこく歴史散歩 第7回

今回は、明見・大堀・稲生地区の古墳をご紹介します。

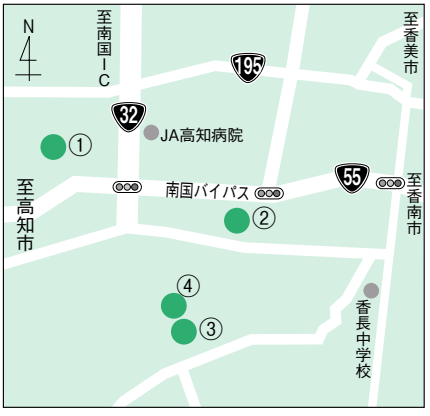
①明見彦山(みょうけんひこやま)古墳群
土電の明見電停の南、彦山の山麓に3基の横穴式石室の古墳がありました。1号墳と3号墳はすでに開口しており、2号墳は消滅しています。1号墳は土佐の三大古墳の一つに数えられ、埋葬場所である玄室(げんしつ)までの通路の長さは約3m、玄室は長さ5.5m、幅2.4mです。6世紀末から7世紀初頭に造られたと考えられています。3号墳は6世紀初頭のもので、

②舟岡山(ふなおかやま) 3号墳
南国バイパスの南側、舟岡山には3基の古墳がありました。山全体が削られ、南側斜面に3号墳だけが残っています。墳丘部分の盛り土はとられ、内部も土砂で埋まっていますが、長さ5.5m、幅2.2mの玄室が残っています。

③丸山(まるやま) 古墳
稲生地区の丸山から衣笠に抜ける道の北側にあります。墳丘の盛り土の大部分がとられ石室が露出していますが、直径15m前後の大きな玄室が、内部は未調査で、玄室の天井石の上に小祠が祀られています。

④坂ノ松(さかのまつ) 古墳

「南国市の主な古墳」—明見・大堀・稲生地区—



明見彦山1号墳

※お問い合わせは
生涯学習課文化財係
(880・6569) まで

妻と娘の3人暮らしです。保険会社の営業の仕事をしています。2年ほど前に購入した電気自動車に乗って、県内各地、ときには県外まで、仕事で毎日走り回っています。ガソリン代がいらないので、何よりも快適な乗り心地がよいですね。

モットーは、何事もコツコツ努力を重ねることです。この4月に社会人になって県外に行った息子にも努力の大切さを言い聞かせました。

夢は妻と二人でのんびりと、豪華客船に乗っての世界旅行です。お金に余裕があったら話すけどね(笑)。

70歳までは仕事を続けたいと話してくださった努力家の竹村さん。きつと夢がかなうことでしょう。